

風水害に備える

◆風水害について

季節の変わり目には梅雨前線や秋雨前線が停滞してしばしば大雨を降らせてます。台風や前線を伴った低気圧が日本付近を通過するときも広い範囲に大雨を降らせることがあります。毎年、こうした大雨によって河川の氾濫や土砂災害が発生しています。また、暴風、高波、高潮などによっても災害が発生しています。

このような気象災害を防止・軽減するために警報や台風情報などの防災気象情報に注意するよう警戒を呼びかけています。災害から身を守るためには、これらの防災気象情報を有効に活用することが重要です。



大雨や台風に向けて

～ ゆとりをもって早めの避難を ～

■ 1 ■ 家の修理は事前に

屋根瓦のずれ、窓ガラスや外壁のひび割れ、雨どいのつまりなどを点検し、修理をしておきましょう。

■ 3 ■ 気象情報を十分確認して

ラジオ、テレビ、インターネット、告知放送端末などで台風や大雨の情報を入手しましょう。なお、台風の影響が出る前にもしものに備えて、持出しできる食料や日用品を持出し袋に準備しましょう。

■ 5 ■ 浸水対策を万全に

床下、床上浸水のおそれがある家では、食料・衣類など生活必需品を、水のつかからない高いところに移しましょう。水が入ってきそうな所には土のうなどを積んで防ぎましょう。

■ 2 ■ 家の周囲の安全対策

風で吹き飛ばされそうなものを固定し安全対策を施しましょう。

■ 4 ■ 排水溝などの点検

家の前の排水溝がゴミなどでつまっていないか確認が必要です。また、雨どいなどが傷んでいないか確認しておきましょう。

■ 6 ■ 避難するときの心掛け

避難するときは、出来るだけ複数人数ではぐれないようにし、特に子供からは目を離さないようにし避難しましょう。

また、長い棒などで水面下を確認しながら避難しましょう。

土のうについて

台風前などの大雨が予測される場合において、土のうを各地区の主要な保管場所に設置しています。土のうは劣化しやすく、長期保管できないため、台風が近づいた時に状況に応じて準備します。全戸配布しているチラシや市ホームページで確認してください。また、各自治会において土のうを作成する場合は、土などを支給しますので市総務部危機管理課までお問い合わせください。